

細入地域 まちづくりと公共施設の 「これから」を考えるワークショップ

8月25日（日）に
開催しました第2回
ワークショップについて
お知らせします！

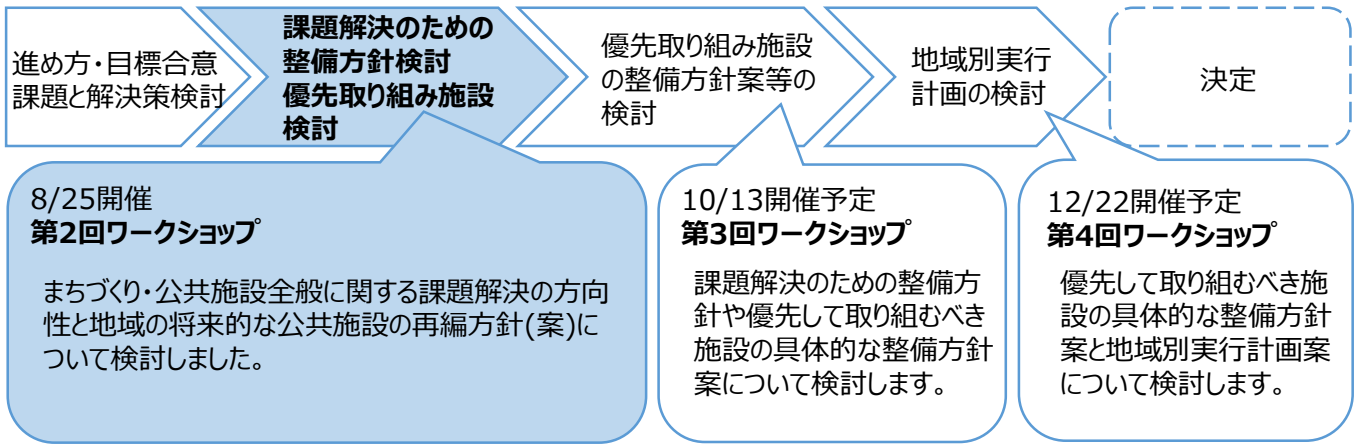
富山市では、今年度、細入地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいの皆様と富山市がともに考えるワークショップを開催しています。8月25日(日)に第2回ワークショップを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容等についてのご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップにて紹介、検討を進めていきます（裏面の「ご意見募集」をご覧ください。）。

検討の進め方

富山市は、このワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいたご意見を反映させた、細入地域における公共施設の用途別に将来の整備方針を定める「地域別実行計画」を策定します。

策定までは、下図のように段階的に検討を進めます。



第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで出されたご意見を6つの視点で整理し、まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性と、地域の将来的な公共施設の再編方針(案)を用途別にまとめ、他に追加すべき視点や用途別の課題はないか、それらの課題を解決するためにはどうすればよいか等について意見を出し合いました。

まちづくり・公共施設全般に関する課題（6つの視点）

① 地域の活性化

○若者・観光客にとっての魅力が足りない。

④ 安全性の確保

○適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。
○空き家への懸念。

② 変化する社会ニーズへの対応

○社会ニーズと実態に乖離があり、利用・稼働の少ない施設が散在している。

⑤ 利用しやすさ・運営の工夫

○利用・稼働の少ない施設が散在している。
○管理者側に工夫の余地がある。

③ 利便性の確保

○利便性の確保に不安・懸念がある。

⑥ 効率化・財政負担の軽減

○老朽化の進む施設、稼働の少ない施設が存在する。

第2回ワークショップ グループ討議のご意見（抜粋）

◆ 課題解決の方向性

■ ①地域の活性化

- ・視点①の「地域の活性化」では、イベントなどによる一過性の活性化ではなく、未永くこの地域が生活の場として続いていく基盤づくりが必要だ。空き家対策にとどまらず、移住したい人が住むことができるような宅地や居住の場を作ってもらいたい。移住者を増やすためには施設のPRに加えて、地域全体の魅力をPRする必要もあるだろう。

■ ②変化する社会ニーズへの対応

- ・視点②では「現状不足している医療、買い物などの機能を新たに取り入れることも考慮する」と課題解決の方向性に記載されているが、それが用途別の方針に反映されているようには見えない。これ以外も含めて、課題解決の方向性で挙げられた事柄は、再編方針案の今後の方向性や具体的取り組みの中に入れてほしい。

■ ③利便性の確保

- ・バスや電車の本数が少なく商店もない地域では、高齢化が進む中で今後どうやって定住を促していくかが課題だ。視点③の「利便性の確保」に交通の利便性に関することを加えてほしい。細入の住民は中心市街地まで行かずに大沢野で用事を済ますことも多いので、大沢野との間の交通の利便性確保が重要だと思う。

■ ④安全性の確保

- ・視点④「安全性の確保」について、適正な避難所の設置を進める方向性として、「中山間地域という立地特性を踏まえることや、災害の種類によって避難場所への配慮が必要」という点を盛り込んでほしい。

■ ⑤利用しやすさ・運営の工夫

- ・視点⑤「利用しやすさ・運営の工夫」の課題として、「利用を促進するPRが足りていない」ところがあるのではないかな。
- ・視点⑤の課題解決の方向性に「積極的に利用するなど、地域の人も維持するための努力を行う」とあるが、積極的に使う努力をし続けていると疲弊してしまうので、努力をしなくても自然に使われるようにすることが大切ではないかな。送迎サービスを行うなどの工夫をして、無理なく継続して利用できるようにする必要がある。

■ 全体

- ・細入などの上流域の中山間部に人が住まなくなると山が荒れ、下流域にある市の中心部の自然環境にも影響を及ぼすことになるのではないかな。経済効果で見ると中山間部は劣っているかもしれないが、そこに人が住むことは市全体にとって価値があることだと思う。地域住民が暮らし続けられる持続可能な地域社会、コミュニティになるかという視点も加えたい。

◆ 地域の将来的な公共施設の再編方針(案)

1) 集会施設（細入公民館、細入南部公民館、細入北部コミュニティセンター）

■ 全般

- ・細入地域は南北に長いことや、中山間地域という立地特性を踏まえると、たとえ将来的に人口が減ったとしても集会施設を1つに集約することは難しい。集会施設は災害時の避難所でもあるので、南北それぞれの地区に必要なだ。
- ・方向性案には「防災上の必要となる避難施設の適正配置を検討する」とあるのに、将来的には集会施設を1カ所に集約するというのは矛盾しているのではないかな。各地区に川があるので、橋が通れなくなる可能性を考えれば、避難所は3箇所にあるのが望ましい。

■ 細入北部地区コミュニティセンター

- ・北部地域コミュニティセンターは、自治会の会合や行事で利用している。
- ・中長期の方針に異論はないが、廃止や譲渡を検討する前に短期的な取り組みとして利用率を上げることを考える必要があると思う。利用規則の変更や、制約の軽減などによって気軽に使えるようにしたり、積極的なPRをするべきだ。
- ・地元で譲渡されても、現状のような制約があると自由な運営ができないので問題だ。地域で検討した使い方の提案やルールを尊重してもらえるのであれば、地元で譲渡してもらって運営することを視野に入れても良いと思う。
- ・廃止や民間への譲渡だけでなく、これを機に、指定管理などによる新たな活用方法を検討した方が良い。国道沿いに立地した風情ある古民家なので、ライダーハウスやB&Bなどの宿泊施設にすると賑わいが出て、海外の人にも評判になると思う。
- ・朝日町では、地域おこしなどを学生と一緒に考えるインターシッププログラムを行っている。細入地域でも北部地区コミュニティセンターを拠点に、同様の取り組みをしたらどうか。

2) 図書館・博物館等（細入図書館、猪谷関所館）

■ 全般

- ・民間活力の導入と一口に言っても、いろいろなやり方があるので、もう少し具体的に説明してほしい。

■ 猪谷関所館

- ・関所館の企画内容は充実しており、PRも努力していると思うが、利用率を上げるにはさらにPRを工夫する必要があるのではないかな。高山などが海外の観光客に人気になっているので、海外観光客向けの対応やPRも必要だと思う。
- ・貴重な施設なのに、場所がわかりにくいことが問題だと思うので、短期的な取り組みとして、国道沿いに看板を立てるなど、場所の周知を行うべきだ。
- ・関所館はもともと関所があった場所にあるわけではないので、現在の場所にこだわらずに国道からのアクセスの良い南部公民館周辺に移転したり、南部公民館に複合化することを検討してはどうか。その方が利用率が上がると思う。

第2回ワークショップ グループ討議のご意見（抜粋）

◆ 地域の将来的な公共施設の再編方針(案)

■ 細入図書館

- 細入図書館は、一般利用のためだけでなく、小、中学校の図書館でもある。学校の図書館機能があるのだから、施設機能は維持されるべきだろう。

3) スポーツ施設（猪谷プール）

■ 猪谷プール

- 榆原プールは、地域住民の利用ができなくなったため、お盆の帰省の際に自由に使えるプールが他にないことを考えると、猪谷プールは残してほしい。猪谷プールはまだ綺麗で修繕の必要もない。
- 榆原プールを学校が管理することになったため、一般の利用ができなくなった。それを受けて猪谷プールの利用率は上がっていると思う。これまでとは状況が変わっている中で、榆原プールが今後、一般開放されるのかも含め、もう少し時間をかけて、状況の変化を見極めてから方向性を判断した方が良い。
- 短期的な取組みとして、利用率によってはプールの開放期間を現在より短くすることを検討しても良いと思う。

4) レクリエーション・観光施設

（天湖森、林林、楽今日館）

■ 全般

- 「民間ノウハウを活用」と言っても、いろいろなことが考えられるので、住民と市で共通認識を持つためにも具体的な内容を説明してほしい。
- 3つの施設は地域で設立した(株)ほそいりが運営しており、現状でも十分に運営の工夫をしていると思う。「民間のノウハウを活用」という意味が、運営はこのまま地元の会社に任せ、さらなる工夫をしていくという意味であれば異論はない。
- 楽今日館のバスを天湖森や林林でも利用できるようにするなど、3つの施設を連携して使えるようにしたり、施設の価値を再発見して、これまでとは違う客層を開拓したりすることで集客を図ると良い。

5) 学校（神通碧小学校、榆原中学校）

■ 全般

- 小、中学校が統廃合でなくなると、若い世代の移住者を増やすことが困難になり、過疎化につながる。複式学級でも構わないので地域の中に学校を維持したい。複式学級になることで先生方の負担が大きくなるなら、ボランティアを募ってサポートする体制を作ってはどうか。
- 学校選択制なので、家庭ごとの意思で学校を選ぶことができる。他の地域の教育環境を選ぶ人もいるが、細入の教育環境が気に入って榆原中学校に通わせたいと思う人もいるのだから、地域内の学校を存続してほしい。他地域から来ている子もいるので、呼び込む努力をする必要もあると思う。
- 人数が少ないと良くないとは一概に言えないと思う。複式学級や、少人数クラスの方が指導が丁寧になるかもしれない。他の学年と一緒に学ぶメリットを感じる人もいるかもしれない。児童生徒数だけで「適正」とは評価できないものがあるのではないかと。

- 複式学級は小学校でなら可能だと思うが、中学校は学年で授業内容も違うし、学力に差が出てきたりするので難しいのではないかと。
- 小中一貫校にするなど、統廃合以外の策を考えることが最優先だと思う。

6) 幼保・こども園（ほそいり保育所）

■ ほそいり保育所

- 大沢野の保育所に入れなかった子どもが、ほそいり保育所に入園してきている。細入の住民にも近隣地域の住民にも必要とされているので、地域内に保育所を残してほしい。
- 将来的に保育所の規模を縮小する場合は、小学校に移転してはどうか。

7) 庁舎等

（細入中核型地区センター、細入総合福祉センター）

■ 全般

- 中核型地区センターは、耐震性がなく危険なので、建物は早急に解体するべきだと思うが、機能は地域内に残してほしい。
- 短期的な取組みとして、中核型地区センターの機能を移転し、建物を解体する場合と、耐用年数ぎりぎりまで利用した後で解体する場合の費用対効果をシミュレーションした上で、どちらの案にするかを判断した方が良い。

■ 中核型地区センターの複合化

- 短期的な取組みとして、中核型地区センターの機能を総合福祉センターに移転するのが良いと思う。中核型地区センターを早急に移転する必要があるのだとしたら、それが現実的だ。
- 総合福祉センターに中核型地区センターが入ることを、デイサービスの民間委託業者が容認できるかを確認する必要がある。問題がなければ、建物的にも設備的にも総合福祉センターと複合化するのが良いと思う。
- 細入公民館は入口がバリアフリーになっていないので、高齢者の利便性などを考えると、中核型地区センターを複合化させるのには向かない。複合化する場合には改修の必要がある。
- 中核型地区センター移転までに、細入公民館をバリアフリーに改修できる時間の余裕があるならば、総合福祉センターはそのまま維持し、中核型地区センターを細入公民館に複合化するという選択肢もあると思う。
- 総合福祉センターを改修して、中核型地区センターと細入公民館を複合化できれば、1箇所様々な用事が済ませられ、使い勝手が向上する。現状で不足している、医療や買い物の機能も追加で複合化ができると良い。
- 総合福祉センターに、中核型地区センターと細入公民館の機能を複合化する場合、現在の細入公民館にあるホールと同規模の多目的スペースや調理室を確保してほしい。ホールや調理室がなくなると、会議やイベントの開催、ブラスバンドの活動などに支障が出る。
- 細入公民館を中核型地区センターや総合福祉センターと複合化すると、ホールや調理室が残らなかったり、これまでのような使い方ができなくなるのであれば、細入公民館は単独で残してほしい。

第2回ワークショップ グループ討議のご意見（抜粋）

◆ ワークショップの進め方について

- 地元住民といえども全ての施設の利用実態はわからないし、再編方針案の内容を十分に理解しているとも言えない中で議論するのは難しい。施設の利用状況に関する詳細な情報や、市が今後施設をどうしていきたいかという具体的な提案を出してもらってから話し合いをした方が良い。
- 公共施設の問題の前に、人口減少などの地域課題を解決しなければならないのではないかと。地域の不便さをなくしていかなければ定住には繋がらないので、交通や高齢者の不便さを改善することについても話し合う必要がある。

- ニュースレターにはワークショップで出された個別の意見を載せるよりも、全体的な傾向をまとめて掲載する方が良いのではないかと。

◆ その他

- 再編の結果として施設が廃止された場合には、必ず建物を解体してほしい。

第2回ワークショップ 全体討議のご意見（抜粋）

ワークショップの進め方への提案を受けて、グループ討議の発表の後、ワークショップの参加者全員で意見交換をしました。

◆ ワークショップの進め方への提案

- ワークショップ資料が送付されてくるのが遅く、事前に資料を確認することが難しい。もっと早く送ってほしい。
- 検討対象施設の中にはワークショップのメンバーが利用したことのないものもあり、利用実態が分からないのに加え、運営に関する知識もない中で議論を進めて良いのかという疑問がある。個人としての意見はいろいろあっても良いとは思いますが、他人の意見に対して意見交換をする全体討議の時間があつた方が良いのではないかと。
- 第1回ワークショップのまとめを読むと、猪谷プールや公民館などについて人によって認識が異なっている意見があつた。施設の利用人数や利用実態などの情報を共有する必要があるのではないかと。

◆ グループ討議の発表に対する意見交換

- 再編方針には「民間活力を導入する」という表現が出てくるが、漠然としている。民間に全て移行する、指定管理者のような形で運営を任せるなど、いろいろな形が考えられるが、具体的にはどんなことを考えているのか。民間になつてつぶれた施設もあるのが現状だ。利益がなければ民間は乗ってこないが、利益が出なくても重要な施設はあるだろう。
- 細入中核型地区センター、細入総合福祉センター、細入公民館の3つの施設を1つにしてはどうかという意見があつたが、公民館は必要な施設なので、今のまま残した方が良いのではないかと。もし移転した場合に、今の公民館の建物をどうするのかについても意見が出たのか。
- 細入公民館には調理施設があるので、その機能やホール機能も移転できるなら検討しても良いとは思いますが、それはなかなか難しいのではないかと。それを考えると、公民館は今のまま残す方が良いと思う。
- 今年から榆原プールの管理が神通碧小学校に移管されて、監視は小学校のPTAと先生方が行っている。中学校も同じ建物にはあるが、中学校の先生方が監視に入れないということで、今年度は中学生は入れないことになった。一般開放も現状では難しいと思う。

ご意見募集

ワークショップに参加される方だけでなく、多くの細入地域の皆様のご意見を今後の計画に反映させたいという考えのもと、ご意見を募集します。

- ワークショップで検討されている内容について
- 細入地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

皆様のご意見をお待ちしています！



お問い合わせ先

富山市企画管理部行政経営課
 電話：076-443-2021
 ファックス：076-443-2170
 E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikeieika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>